

## 令和5年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	要 旨	答弁者
1 2	1 1	佐野和彦 議員	1 / 2	
発言項目	要 旨			答弁者
1 新型コロナウイルスワクチンの後遺症及び新型コロナウイルス感染症の後遺症から市民を救う	<p>WHO（世界保健機関）は、新型コロナウイルスワクチンの接種指針を改定し、最も接種を優先するのは高齢者、基礎疾患がある方、免疫不全の方、妊婦及び医療従事者を挙げ、公衆衛生上の効果が比較的低いとして健康的な成人や子どもには定期的な追加接種を推奨しないことなどを示した。一方で国においては、予防接種で健康被害を受けた方は、予防接種健康被害救済制度を利用することができ、我が富士宮市でも新型コロナウイルスワクチン健康被害給付金が用意される。また感染後の後遺症で今もなお苦しむ市民が多くいることを再認識し、対策を取らなければならないが以下伺う。</p> <p>(1) 新型コロナウイルスワクチン接種をしても効果が低い人と、有効な人の説明は現在どのようにされているか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルスワクチン接種後、体調を崩した人の調査はどのように行われているか。また、接種後のアンケートを取るべきと考えるがいかかか。</p> <p>(3) 法定受託事務でワクチン接種事業を執行せざるを得なかったとしても、まれとはいえ重篤な方や亡くなられた方がいる以上、市はどのような形で市民に寄り添っているのか。</p> <p>(4) いわゆる感染症法上の分類が2類相当から5類になったが、新型コロナウイルス感染症に感染して後遺症が残っている方々への対応に変化はあるのか。</p>			市長 副市長 病院長 関係部長
2 熱中症対策と市民生活を考える	<p>これから夏を迎えるにあたり私たちは熱中症に気を付けなければならない。国においては、熱中症特別警戒情報を新設する改正気候変動適応法が本年4月28日に参議院で可決、成立した。高温化での市民生活のリスクを少しでも下げするため、我が富士宮市においては今後の対策をどのようにとっていくか以下伺う。</p> <p>(1) 現在の熱中症患者が出ないための取組は、改正気候変動適応法により強化していくことはあるのか。</p> <p>(2) これから夏を迎えるにあたり、市民に分かりやすい熱中症警戒アラートなどを活用し、知らせることはできないか。</p> <p>(3) 各自治会が管理している公会堂、区民館及び集会場にはエアコンが完備されていない建物もある。熱中症対策として市で設置することや、できなければ補助金の新設は考えられないか。</p> <p>(4) 熱中症になりやすい高齢世帯の空調機器の導入状況について、市は把握しているか。また、対策をとっているか伺う。</p> <p>(5) 低所得の方々に空調機器購入の補助を行うことはできないか。</p>			市長 副市長 病院長 関係部長

発言 順序	1 2	議席 番号	1 1	氏名	佐 野 和 彦 議員	2 / 2
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
3	富士根北部の交通安全対策について			<p>富士宮市北部地区に工業団地が集中している。富士根北部の各所では子どもたちの見守り活動などを地区社会福祉協議会の方々が中心となって行っている。マナーの悪いドライバーもあり、中には地域の方しか使わないような生活道路まで侵入し走行をしている車両もあり、地域住民も危険と隣り合わせの部分がある。過去の一般質問などで伺ってきたが、近年の有効な交通対策を伺う。</p> <p>(1) 地域の交通安全指導員が危険だと思えるような案件の対応は、どのようにしているか。</p> <p>(2) 生活道路にまで侵入する車両について、市からの指導はどのように行われているか。</p> <p>(3) 会社単位に運転マナーの改善を伝え、交通安全の徹底をお願いすることはできないか。</p>		市 長 副 市 長 関係部長